

## 当院での呼吸ケアチーム（RCT）の活動報告

救急部・集中治療部

○永野 由紀

5階西病棟

楠瀬 悦子

ME 機器管理室

氏原 友三郎 村上 武

リハビリテーション部

榎 勇人

麻酔科蘇生科

山下 幸一

人工呼吸管理を要する症例は集中治療室にて管理することが原則であると言われているが、当院は病床数605床を有する特定機能病院でありながら、ICUが4床と小規模なうえにHCUなどの設備がないため、一般病棟において急性期から慢性期まで、さまざまな場面で人工呼吸管理を行わざるを得ない現状である。人工呼吸症例の経験の少ない一般病棟では、主治医および看護スタッフの負担は大きく、看護師は人工呼吸器の取り扱いをはじめ、呼吸リハビリテーション、人工呼吸器関連肺炎の予防、譫妄や家族ケアなど様々な問題の対処に苦慮するという状況であった。そこで、2007年に3学会合同呼吸療法認定士の資格を有する4名のICU看護師と麻酔科医1名、臨床工学技士4名、理学療法士2名で、リスクマネジメント強化、患者評価（アセスメント）ならびに看護実践能力の向上、チーム医療の促進を目指して呼吸ケアチーム（Respiratory Care Team、以下、RCT）を結成した。活動内容としては、病棟での人工呼吸患者のラウンドとコンサルテーション、人工呼吸器関連のインシデントレポートの評価、呼吸管理に関する教育を行っている。今回、当院におけるRCT活動を評価、検討したので報告する。

〔平成23年6月19日 集中治療医学会中国四国地方会（米子）にて発表〕